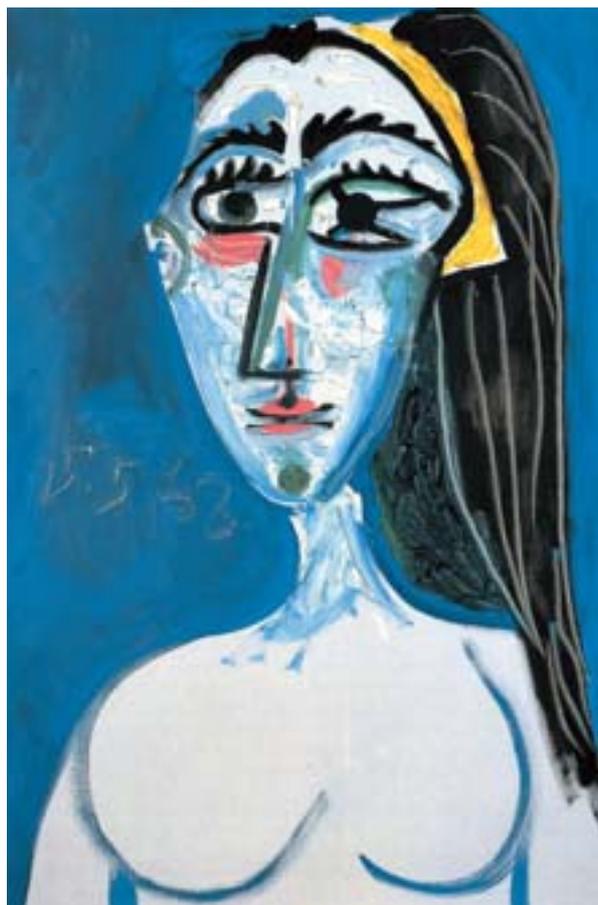


石川県立美術館だより

平成16年8月1日発行 第250号



青い背景の婦人像 パブロ・ピカソ
山形美術館蔵

ピカソ、マティスと 20世紀の画家たち

7月23日(金)~8月22日(日)会期中無休



太夫 坂根克介

特集

夏休み 親子で楽しむ美術館

~すてきな色を見つけよう~

7月23日(金)~8月22日(日)会期中無休

目次

| | |
|--------------------------------|---------------------------|
| ピカソ、マティスと20世紀の画家たち ... 2 | 第1回美術館バスツアー報告 6 |
| 前田家の婚礼調度、古九谷・再興九谷名品展(後期) ... 3 | 展覧会回顧(移動美術展 能都町展) 7 |
| 夏休み 親子で楽しむ美術館 4 | 貸出中の所蔵品、次回の展覧会 7 |
| 常設展示室 主な展示作品 5 | 8月の行事案内 7 |
| 企画展TOPIC(香月泰男展 第2回) ... 6 | 所蔵品紹介、ミュージアムショップ通信他 ... 8 |

URL <http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/>

企画展示室（第7～9展示室）

ピカソ、マティスと 20世紀の画家たち

7月23日(金)～8月22日(日) 会期中無休
主催 / 北陸中日新聞、石川県立美術館、石川テレビ放送



ヨット ラウル・デュフィ
プリント美術研究所蔵

二十世紀の初め、フランスで起こった代表的な美術運動が、野獣派と呼ばれ、色彩の解放を叫んだフォーヴィスムと、立体派と云われ、形の解放を求めたキュビスムです。彼らは、十九世紀後半、印象派などによって獲得された近代美術の成果を引き継ぎ、二十世紀美術に新境地を開拓しました。

マチス、マルケに代表されるフォーヴィスムの画家たちは、造形要素の中でも特に色彩に注目し、固有色再現性といった絵画の約束事に縛られず、激しい色使いで自分たちを表現しました。しかし彼らは何らかの綱領をもった美術集団ではなく、それぞれがそれぞれの表現方法をもった、純粋に色彩に関心があつた画家たちの運動でした。

ピカソ、ブラックによって始まったキュビスムは、造形要素の中でも特に空間に注目し、フォーヴィスムなどの表現主義的な考え方と違って、形を論理的に解体、つまり見たまま、感じたままを描くのではなく、モチーフについて知っていることを描いたのです。絵画は感情や感覚的なものだけでなく、もうひとつの流れ、知的感覚が取り上げられ、やがては抽象絵画へとつながっていくのです。

本展覧会では、フランスのポルドー美術館やドイツのルートヴィヒ美術館をはじめ、国内外の美術館、個人コレクターの協力により、あらためてフォーヴィスムとキュビスムの画家たちに焦点を当てることによつて、二十世紀美術の方向付けをしたふたつの美術運動を、総数約百点の作品によって紹介します。

主な出品作家

フォーヴィスムの画家

- アンリ・マティス、アルベール・マルケ、
- モーリス・ヴラマンク、ラウル・デュフィ
- ルイ・ヴァルタ

キュビスムの画家

- パブロ・ピカソ、ジョルジュ・ブラック、
- フェルナン・レジェ、アンドレ・ロート、
- ファン・グリス

講演会（入場無料）

日時 8月1日(日) 午後1時30分
場所 美術館ホール
演題 「二十世紀絵画における破壊と創造
ーピカソ、マティスを中心にー」
講師 本江邦夫（多摩美術大学教授・府中市美術館長）

展覧会ロビーコンサート

日時 7月24日(土) 午前10時、11時（2回）
8月9日(月) 午前10時、11時（2回）
場所 美術館一階ロビー
演目 「ピカソに捧げるスペインの香り」
演奏者 オークストラアンサンブル金沢による四重奏

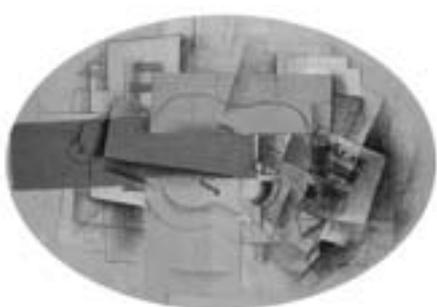
子供無料鑑賞デー

日時 8月3日(火)、9日(月)
対象 小学生・中学生

観覧料

| 個人 | 団体（20名以上） |
|-----------|-----------|
| 一般 1,100円 | 一般 900円 |
| 高大生 700円 | 大学生 500円 |
| 小中学生 500円 | 小中学生 300円 |

当館友の会員は受付での会員証提示により、団体料金でご覧になれます。



ジョルジュ・ブラック
ルフトヴィヒ美術館蔵



双子
ルフトヴィヒ美術館蔵



襟巻きの女
アンリ・マティス
ポーラ美術館蔵

常設展示室 (前田育徳会展示室)

特集

前田家の婚礼調度

7月23日(金)~8月22日(日)

婚礼調度とは、婚礼の際に女性が嫁ぎ先へ持参するもので、大名家では統一された意匠と家紋が施された豪華な蒔絵装飾の嫁入道具が準備されました。徳川美術館の「初音の調度」に代表されるように、その内容品は、三棚、貝桶、化粧道具、文房具、遊戯具、武具、飲食器、楽器など、その数量は膨大なものでした。

前田家では徳川家からの輿入れが多々ありました。それは將軍家にとつて、外様大名で大藩の前田家を配下に与するために姻戚関係を結ぶことが、必要不可欠の方法であつたことが要因でした。最初に三代藩主利常へ二代將軍秀忠の二女珠姫(天徳院)が、次に四代光高に家康の孫で水戸の徳川頼房の二女阿智子が、五代綱紀に保科正之の二女で二代將軍秀忠の孫磨須子が、六代吉徳に五代將軍綱吉の養女松子が、十三代齊泰に十一代將軍家斉の二十一女借子(浴姫)がそれぞれ輿入れしています。前田育徳会には、婚礼調度としてまとまっているものは浴姫のもので、松唐草を圖案化した意匠と、徳川家の葵の紋が蒔絵されています。三棚の一つである書棚と貝桶は失われていますが、当時の大名の婚礼調度として貴重です。この中から、厨子棚・黒棚・十二手箱・大小角赤・齒黒箱・櫛箱などを展示します。なお、現在の東京大学の赤門は、文政十年(一八二七)十一月に、浴姫を迎えるに際し、御守殿門として作られたものです。

その他に「姫君入輿行列図」や「女三十六歌仙色紙雉図屏風」などを展示します。前者は、下巻の奥書から従来は浴姫の婚礼の行列図とされていましたが、図中の人名や役職から、天明七年(一七八七)十代將軍家治の養女種姫が、紀州徳川治室に嫁した際の行列図と判明したようです。しかしながら、この絵巻から浴姫の入輿の様子を類推することが可能です。後者は、金地に雉と草花を描いた屏風の上部に、女流歌人三十六人の歌と肖像を描いた色紙を貼り付けた華やかなものです。旧貼紙に「歌仙小屏風/...・真照院様御遺物」とあり、八条宮智忠親王に嫁いだ利常の女富姫の遺愛品とわかります。このような作品をご覧頂き、大名家の一大儀式である婚礼の一端をご覧頂きます。

後期の「古九谷・再興九谷名品展」は、前期の展示作品のうち、十二点を入れ替えてご覧いただきます。今号では、再興九谷と呼ばれる窯のうち、主なものの特徴を紹介します。

古九谷廃窯後、十九世紀には各地に窯が開かれました。これらを総称して「再興九谷」と呼んでいます。

最も早い時期に開かれたのが、金沢の春日山窯です。京都から青木木米を招き、文化四年(一八〇七)に開窯しています。当時、藩民が日常使用する焼物は肥前や京都から買入れていました。その結果、藩金が大量に流出し、それを憂えた藩が、自ら経営したのが春日山窯でした。呉須赤絵写しが最も多く、鉢・皿・徳利など日用品が大部分を占めました。

春日山窯廃絶後、金沢で開かれたのが民山窯でした。加賀藩土武田秀平が開いたもので、赤の細描が特徴となります。秀平は友月という号の木彫家として知られ、陶号を民山と称したことから民山窯と呼ばれました。一方小松では、ほぼ同時期に若杉窯が興っています。

藩の保護奨励もあつて全国から陶工が招かれました。古九谷青手様式や染付の鉢・皿をはじめ、春日山窯で意図しながらも実現できなかった殖産興業の量産方式による日用雑器など、あらゆる器種が作られました。

大聖寺では、古九谷再興を目的に吉田屋窯が開かれました。当初は古九谷の窯跡に開窯しましたが、あまりに不便な土地であつたことから、山代の地に窯を移しました。作品はじつに広範囲にわたり、芸術的鑑賞品というべきものと、量産方式による日用品とがじつにうまく併用して経営が行われていました。古九谷青手の塗埋手を踏襲しており、一見青く見えることから「青九谷」の呼称もあり、広く知られています。

吉田屋の窯を引き継いだのが宮本屋窯です。赤絵細描の画風は八郎手とも呼ばれ、当時流行した南画の影響もあり、題材は中国風な唐人物が中心となりました。



色絵椿文六角四段重 吉田屋窯

常設展示室 (第2展示室)

特集

古九谷・再興九谷名品展

後期: 7月23日(金)~8月22日(日)

常設展示室 (第6展示室)

特集

夏休み 親子で楽しむ美術館 ～すてきな色を見つけよう～

7月23日(金)～8月22日(日)



火焰山 西山英雄
火焰山は中国西域にある山で、赤みを帯びた山肌が浸蝕と風化によって縦の山稜を無数に刻み、鮮烈な印象を与える所です。作品は燃えるような赤がとても印象的です。

赤

夏休みの企画として、昨年度より常設展示室で始まりました「夏休み 親子で楽しむ美術館」。昨年度は「美術の動物園」にたくさんの親子づれ、またはおじいちゃん、おばあちゃんとお孫さんという組み合わせで来館いただきありがとうございました。
今年のテーマですが、色に着眼し、「すてきな色を見つけよう」というサブタイトルをあげ、印象的な色の作品を約30点選びました。
色といってもいろいろありますから、今回は作品を赤・黄・青・黒・金の5色に色分けして配置し、その色そのものが印象的な作品、絵のポイントとして印象的な作品などを選び、昨年同様、お子さんの視点・観点に合わせて作成した観賞用の手引きを見ながら、親子で考え、会話を楽しみながら鑑賞できるようにしております。今年もぜひ夏休みのひとときを美術館でお過ごしください。

裸婦 鴨居 玲



黒
黒の風景 白尾勇次

青
彩釉鉢
三代徳田八十吉
静かなイメージを持つ青色ですが、気品高く華やかに表現されています。



黄

黄樹のある風景 下村正一
イチヨウの大樹を、画面左いっぱい描き、右の空間には屋根の重なり合う町並みを配しています。町並みの落ち着いたグレーとイチヨウの黄色の色調が印象的な作品です。

音色 田中太郎



金
幻想 岡田登志男

常設展示室

主な展示作品

7月23日(金)~8月22日(日)

● = 国宝 = 重要文化財
 ○ = 石川県指定文化財



質屋 山本隆

前田育徳会展示室

特集 前田家の婚礼調度

葵紋蒔絵調度品 浴姫所用
 厨子棚・黒棚・小角赤・大角赤・十二手箱ほか
 姫君入興行列図巻

女三十六歌仙色紙雉図屏風
 花車文・桜樹幔幕文・熨斗水引文蒔絵広蓋

業平菱牡丹紋散蒔絵将棋盤・将棋箱
 業平菱牡丹紋散蒔絵碁盤・碁笥

第1展示室

● 色絵雉香炉

色絵雌雉香炉

野々村仁清

野々村仁清

第2展示室

特集 古九谷・再興九谷名品展(後期)

青手老松図平鉢 古九谷

色絵鶴かるた文平鉢 古九谷

色絵鶉草花図平鉢 古九谷

青手葡萄図平鉢 古九谷

色絵唐人物図鉢 春日山窯

色絵山水図輪花鉢 民山窯

染付草虫文芙蓉手平鉢 若杉窯

色絵椿文六角四段重 吉田屋窯

赤絵花鳥文鉢 宮本屋窯

色絵楼閣山水図蓋物 小野窯

第3・4展示室(油彩画・素描・下絵・彫塑)

日本画

寂

野牛

逢か

質屋

街

油彩画

私の散歩道

望郷を歌う

上田珪草

坂田三男

中出信昭

山本隆

山本知克

奥田憲三

鴨居玲

画室にて

ロッシユ展覧

熱叢夢

素描・下絵

戦争画下絵

南方従軍素描集「印度兵」

兵士

彫塑

雨あがり

話

第5展示室(工芸)

陶磁

釉裏銀彩切箔鉢

漆工

沈金花壇文飾箱

金工

月に雨

截金

木彫截金彩色合子「千鳥」

第6展示室(日本画・油彩画・版画・工芸)

特集 夏休み 親子で楽しむ美術館

日本画

長江の朝

油彩画

裸女達に捧ぐ

版画

海山十題「海」

工芸

沈金猫文「けはひ」飾笥

観覧料

高光一也

田辺栄次郎

宮本三郎

高光一也

宮本三郎

南 政善

川岸要吉

坂 坦道

中田一於

前 大峰

関 源司

西出大三

横山大観

宮本三郎

東山魁夷

前 大峰

| | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 一般 350円 | 個人 | 団体(20名以上) |
| 大学生 280円 | | |
| 高校生以下は 無料 | 一般 280円 | 大学生 220円 |
| 高校生以下は 無料 | 高校生以下は 無料 | 高校生以下は 無料 |



沈金花壇文飾箱 前 大峰



兵士 南 政善



熱叢夢 宮本三郎

第1回美術館バスツアー報告

今年から始まりました企画「美術館バスツアー」。第1回目は能登の美術工芸品を訪ねてと題し、穴水～輪島～柳田を回ってきました。



来迎寺にて

6月13日(日)快晴の中、金沢駅を出発し、来迎寺へ。本堂で住職による寺伝、寺宝についての説明を受けました。住職の巧みな解説で和やかな楽しい雰囲気でお話を聞くことが出来ました。そして

次の見学地の石川県輪島漆芸美術館へ。展覧会「漆に魅入られた女たち」が開催中で、学芸員の案内で30分ほど作品や作家について丁寧に説明をしていただきました。天野文堂と10人の女流作家による華やかな作品を堪能。常設展示では、全国の漆文化や、世界の漆文化も紹介され、展示作品を快適に鑑賞することができました。

昼食は、どこまでも蒼い空と日本海を見ながら能登牛をいただき、満足、満足。食欲も満たされたところで南惣美術館へ。南家の米蔵を改装して「能登集古館 南惣」を開館し、歴代の当主が収集してきた美術工芸品を常設展示しています。館内はテーブルによる解説を聞きながら見学しました。庭に出ると、ささゆりが見頃で清楚で瑞々しい花を咲かせていました。別棟ではお茶をいただき、ゆっくりと鑑賞できました。

金蔵寺では、本堂に安置されている不動明王坐像は丈六の木造坐像でかなりの存在感。本堂奥にある不動明王立像も輪島市指定の文化財で見事なものでした。それから法華寺へ。先月できたばかりの収蔵庫を開けていただきました。中には重要文化財である不動明王坐像が安置され、順番にお参りしました。金剛界五仏をはじめ、多くの仏様を拜見しました。平等寺では、本堂でお茶をいただきながら住職のお話を伺いました。聖観世音菩薩・大般若会本尊画幅・古稀寿の墨跡など住職が丁寧に解説してくださいました。紫陽花寺としても有名なお寺で、紫陽花の鉢植えを買って行かれる方が多かったように思います。



法華寺にて

今回の見学地は、狭い山道が多く大型バスで廻る不便さを感じたものの、ほぼ予定通りに見学することができ、無事に旅行を終えることができました。終わりに、ご参加の皆様と各見学地でお世話下さいました関係各位に深く感謝申し上げます。



平等寺にて

企画展TOPIC

「没後30年 香月泰男展」第2回

香月の生い立ち

香月泰男は明治44(1911)年10月25日に、山口県三隅町久原に生まれ、63年後の昭和49(1974)年3月8日に同じ久原の地で没しています。享年62。戦後画壇の寵児となる画家としては珍しく、ずっと故郷で制作を続けたのでした。山口を離れたのは、東京美術学校時代と卒業後1年半ほどの北海道での教師時代、それから召集を受け満州ハイラルでの軍務期と終戦後2年半のシベリア抑留期、あとは昭和31年から翌年にかけての半年間の滞欧、41年の3ヶ月ほどの滞米といったところです。

「自分の生まれ育った場所が絵にならぬようでは絵描きとは言えない」とは、香月の言葉ですが、その言葉どおり、終生三隅を愛し、「私の地球」と題して三隅をテーマに、俯瞰図の一見抽象画とも思える作品を数点残しています。三隅町は山口県の山陰側、長門市から山陰線沿いに5キロほど離れた小さな町で、生家の前には三隅川が流れ、後方には久原山が、そして遠くには日本海が望めます。

香月家は代々漢方医の家柄ですが、先祖には雪舟の流れを汲む雲谷派の末流も見られ、幼い香月は家に残っていた数多くの絵を飽かず眺めて育ちました。誰に勧められた訳でもなく、小さい頃から絵を描き出したのは、こうした血の流れがあるのではと、その自叙伝『私のシベリア』で述べています。

しかし、家庭環境は暗く、母は早くに離別、父はその後朝鮮に放浪、一人っ子の香月はきわめて厳格な祖父母によって育てられました。見捨てられた子供だと思いい、祖父母への反抗、これらが偏屈で倨傲な気質を作り、後に戦争中も絵具箱を持参し描き続ける剛直な精神へと繋がったのでしょう。

東京美術学校では藤島武二の教室に学びましたが、その一方的な教えが受け入れられず、藤島の若きライバル梅原龍三郎と彼が主宰する国画会に傾倒していきます。梅原の大和絵を取り入れた画風に学んだ作品がこの時期描かれるのですが、この日本的なるものへの傾倒は、香月の生涯を決定づけるものでした。

(二木伸一郎 学芸専門員)



私の地球 昭和43年 山口県立美術館蔵

「没後30年 香月泰男展」の会期は9月25日(土)～10月24日(日)です。

展覧会回顧

移動美術展 能都町展

石川県移動美術展は、県民に広く美術作品鑑賞の機会を供するため、県立美術館の所蔵品を展覧し、地域文化の振興に資することを目的に、石川県教職員互助会、地元市町村、県立美術館の3者が主催して、毎年開催しているものです。

今回で移動展も18回を数え、ほぼ石川県内、金沢からの遠隔地の市町村を一回りして、二回り目に入っています。本年は、去る5月30日から6月6日まで、能都町立羽根万象美術館において開催されました。羽根万象美術館では、平成5年に一度移動展を開催していますが、本年は同館の開館15周年を記念するとともに、明年3月、能都町、柳田村、内浦町が合併されることから、能都町として最後の年の移動展となりました。8日間の会期中、一般町民の方々や地元の小中高校生を中心に、前回は上回る約1800名もの来館者がありました。

会場が美術館ということもあって、展示設備が整っており、作品も見やすく、すっきりした展示になったと思われます。展示内容は、日本画10点、油彩・水彩画18点、素描・版画9点、彫塑6点、漆芸5点、計48点でした。その中には、郷土出身の羽根万象氏の力作や、宮本三郎、安田鞆彦といった画壇を代表する作家の優品、また松田権六、大場松魚、寺井直次氏ら人間国宝の漆芸作品もあわせて展示し、好評を博しました。

来年度の開催地や日程は、まだ決まっておりませんが、皆様のお近くで開かれた際には、ぜひ一度ご覧下さい。

(西田孝司 学芸専門員)



移動展会場：能都町立羽根万象美術館

貸出中の所蔵品

他館への貸し出しは、所蔵品を有効に活用するための、美術館の重要な業務のひとつです。現在貸し出されている主な作品は下記の通りです。

赤絵金彩狸図中皿 三代武腰善平作
 金魚文台鉢 中嶋珠光作
 色絵金彩猫図中皿 藤村豊秋作
 計3点

展覧会 九谷焼動物園へようこそ
 会 期 7月24日(土)~9月12日(日)
 会 場 石川県九谷焼美術館

菱文蒔絵平卓 松田権六作
 計1点

展覧会 美の殿堂への誘い
 日本芸術院所蔵作品展
 会 期 7月9日(金)~8月29日(日)
 会 場 石川県輪島漆芸美術館

次回の展覧会

- 特 集 名物裂と香道具 (前田育徳会展示室)
 - 特 集 甦った赤羽刀と郷土の名刀 (第2展示室)
 - 特 集 近代日本画にみる花の表現 (第6展示室)
- 8月26日(木)~9月20日(月・祝)

8月の行事案内 《入場無料(ギャラリートークを除く)・いずれも午後1時30分から行います》

| 月 日 | 行 事 | 内 容 | 会 場 |
|---------|-----------|---|-------|
| 8/1 (日) | 講 演 会 | 20世紀絵画における破壊と創造 ピカソ・マティスを中心に 講師 本江邦夫(多摩美術大学教授・府中市美術館長) | ホール |
| 8/7 (土) | 美 術 講 座 | 石川の洋画界 (二木伸一郎 学芸専門員) | 講義室 |
| 8/8 (日) | ビデオ鑑賞会 | 国宝5 興福寺・当麻寺(29分) | ホール |
| 8/21(土) | 美 術 講 座 | 石川の人間国宝 (前田武輝 学芸専門員) | 講義室 |
| 8/22(日) | 月 例 映 画 会 | ヴァン・ゴッホの自殺 画家はついに故郷に帰れず(23分) | ホール |
| 8/28(土) | ギャラリートーク | 国宝 色絵雉香炉 (谷口 出 普及課長) 展示室内で行われるため、常設展の入場料が必要です。 | 常設展示室 |
| 8/29(日) | ビデオ鑑賞会 | 国宝6 薬師寺・唐招提寺(32分) | ホール |

8月の全館休館日は23日(月)~25日(水)です。

釉裏金彩とは、素地に金箔を貼った後に釉薬をかける技法を指し、それまでの釉薬の上に施していた金彩とは異なる、微妙な光の屈折による情感豊かな表現が実現されました。この技法の創始者が故竹田有恒氏で、その後多くの作家が釉裏金彩の技法に取り組み、陶芸に新しい表現世界の拡大がもたらされました。現在、この技法の代表作家が吉田美統氏で、平成13年にはこの技法により重要無形文化財保持者に認定されました。

吉田氏は、2度にわたって焼成された白磁の器に上絵具を施しさらに焼成し、その器面に下絵を写してそれぞれに番号を付け、型紙に合わせてドイツ製の医療用ハサミなどを駆使して金箔を丹念に切り、それを番号に従ってフノリで貼り、筆で定着させた後、不純物を除くため4度目の焼成を行い、最後に透明釉を塗り、5度目の焼成を行うという入念な工程を経て作品を完成させます。

鉄線をモチーフとしたこの作品は、器面に放射状の地模様を施し、それが地色の微妙なグラデーションと相まって金彩によるモチーフに奥行きや陰影を与えています。また器体に稜線が加わることによってアクセントが生まれ、ある種の諧調が醸し出されています。

平面的な器面に連続するモチーフをあしらうことは、ややもすると単調な印象を与える危険をはらんでいますが、吉田氏はこのような手法を駆使して極めて高い完成度を実現しています。またモチーフの花と葉に厚さの異なる金箔を用いることで、絶妙の効果がもたらされている点も特筆されます。

第6展示室で展示中



ゆうりきんさいてっせんもんおおざら
釉裏金彩鉄仙文大皿
よしたみのり
吉田美統 昭和7年(1932)~

平成4年(1992)
第15回伝統九谷焼工芸展 優秀賞
口径52.3 底径17.5 高9.2(cm)

ミュージアムショップ通信

残暑厳しい時節がやってきました。冷房の効きすぎで体調を崩すことのないよう気をつけたいですね。

さて、今月は絵はがきを紹介しましょう。当館の所蔵品の中から厳選したものを絵はがきとして販売しています。新たに4枚が加わり、全95種類になりました。写真左上から「蒔絵螺鈿白楽天図硯箱 尾形光琳」、右上「蒔絵菊慈童図葉籠箱 伝五十嵐道甫」、左下「釉裏金彩泰山木文飾鉢 吉田美統」、右下「湖畔のはす田 森本仁平」です。季節のご挨拶などに使っていたきたいですね。



絵はがき(1枚 50円)

訂正とお詫び

本紙前号(第249号)8ページ「所蔵品紹介」の作家生没年、作品制作年に誤りがありました。ここに訂正し、ご本人をはじめ、関係各位に深くお詫び申し上げます。

8ページ

① 明治41年(1908)~平成6年(1994)

② 明治41年(1908)~ 生没年
平成6年(1994) 制作年

休館日：8月23日(月)~25日(水)

石川県立美術館だより 第250号

2004年8月1日発行

〒920-0963 金沢市出羽町2番1号

TEL 076(231)7580 FAX 076(224)9550

URL <http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/>